

日本学術会議 地球惑星科学企画分科会（第25期・第6回）議事録

1. 日時 令和3年12月27日（月）16:00～18:10

2. 会場 遠隔会議（主催会場：国立環境研究所）

3. 出席

委員：沖大幹、三枝信子、佐竹健治、田近英一、中村卓司、西弘嗣、春山成子、堀利栄

4. 議題等

- (1) 前回議事録確認
- (2) 大型研究計画と JpGU2022 ユニオンセッションについて
- (3) 地球惑星科学委員会の検討課題について
- (4) その他

5. 配布資料

資料1：前回議事録

資料2：大型研究計画と JpGU2022 ユニオンセッションについて

資料3：地球惑星科学委員会配布予定資料

6. 議事内容

(1) 前回議事録確認

資料1により前回議事録が紹介され、内容が確認された。

(2) 大型研究計画と JpGU2022 ユニオンセッションについて

議題(3)に含めて議論することとした。

(3) 地球惑星科学委員会の検討課題について

田近委員長より12月28日(火)に開催予定の地球惑星科学委員会の配布資料と議論の内容について説明があった。28日の委員会では、分科会活動の報告について、大型研究計画と JpGU2022 ユニオンセッションについて、さらに学術会議の動向や持続可能な発展のための国際基礎科学年(IYBSSD)等について議論と情報共有を行うこととした。

地球惑星科学分野における大型研究計画については、JpGU2022において「地球惑星科学の進むべき道11:地球惑星科学分野の大型研究計画」と題するユニオンセッションを開催し、大型研究計画のヒアリングを実施する予定であることを確認した。学術会議の動向として、科学的助言機能・「提言」等の在り方の見直しについては、これまでに学術会議総会や委員会・分科会等で出された意見について情報交換を行い、28日に議論する内容を整理した。国際地質学会議(IGC)の大会における韓国との間の地名表記や巡検等に関する問題については、地球惑星科学委員会のメンバーとも情報共有することを確認した。

以上